

# 「都」構想否決後初の要請

## 大阪市は残った 大学統合やめよ

大学の統合をやめる  
よう要請する参加者  
113日、大阪市役所



府知事と市長に  
2団体署名提出

「大阪府立大学問題を考える会」と「大阪府立大学の統合問題を考える会」は3日、橋下徹大阪市長と松井一郎府知事あてに署名を提出し、府大と市大の拙速な統合はやめるよう要請しました。

要請は、5月17日の住民投票で市民が「大阪都」構想を否決し、府と市の二つの大学は

「二重行政の無駄」ではなく、市民生活の向上や都市の発展のために存続、充実すべきだという民意が示されたとして、統合をやめるよう求める趣旨のも

の。昨年9月に続き2回目です。

市役所での要請で、市大の統合問題を考える会の仲本和明世話人は「大学の統合は二重行政の一つとしてあげられてきたが、都構想は否決された。統合を前提とした考え方は、白紙撤回も含めて検討し直すべきだ」と求めました。府大問題を考える会の野沢倫昭代表は「二つの大学は歴史や伝統、学ぶ内容が違い、二重行政ではない。大阪府が残ったのだから、市立の大学として残していただきたい」と話しました。

参加者らは、橋下市長あてに589人分（計1万1492人分）、松井知事あてに582人分（同1万1682人分）の署名を提出。府市の各会派に要請を行いました。